

小学生英語等支援事業

令和7年度の取組内容

- 新学習指導要領での外国語授業・活動をサポートするため、ネイティブスピーカーを小学校に派遣し、語学力の向上、異文化への理解を促進する。
- また、小学生向けの英語イベントを行うことにより、英語によるコミュニケーションを体験する場を提供し、英語学習の意欲向上を図る。

●小学生対象 **英語レッスン**の開催

9校29回以上実施予定

※令和3年度から1,2年生を対象に実施

●小学生対象 **英語イベント**の開催

3回 7月26日(土)、8月23日(土)
9月13日(土)

小学校における英語レッスン



英語発表会



現状

- 小学校英語レッスン・・・9校29回(69単位)実施 (R6実績)
- 英語発表会・・・参加者：65名

教員・保護者の反応(R6回答)

- 小学校英語レッスン (教員の反応)
 - ・テンポよく、元気で勢いのあるレッスンだった。
 - ・教えるだけでなく、やる気を持たせる声掛けに感謝します。
- 英語発表会 (保護者の反応)
 - ・大人数の前で、英語を発表する機会はとても貴重です。
 - ・子ども達が一生懸命練習してきた事が分かるすばらしい発表会でした。
 - ・どの子どももよくがんばっていました。

子どもの体力向上支援事業

令和 7 年度の実施内容

● 小学校に運動指導員を派遣して運動技術指導を行い、子どもの運動技術を向上させる（運動のコツを習得させる）ことで、子どもの運動に対する苦手意識を克服させる。また、指導を通じ運動の楽しさを伝える。

● 各小学校へ運動指導員の派遣：計60回

● 委託事業者：リーフラス株式会社

（公募型プロポーザル方式により選定）

● 運動種目は学校と調整

（人気種目：マット運動、跳び箱、水泳）

● 体育の授業で技術指導を実施

（授業以外の取組みへの派遣も可）



現状

令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果＜体力合計点（平均）＞

- 小学校男子【全国：52.53点 市：51.13点】 ● 小学校女子【全国：53.92点 市：52.47点】
- 中学校男子【全国：41.86点 市：41.10点】 ● 中学校女子【全国：47.37点 市：47.51点】

本市の課題認識

1 週間の総運動時間（体育授業時間を除く）が60分未満の児童生徒の割合が中学校で高くなっていることであり、「子どもの体力づくり強化プラン」に基づき、学校、各種団体と協力し、運動やスポーツに親しむ機会や楽しみながら参加できるレクリエーション活動を提供する等子どもたちの運動機会を増やし、運動習慣の定着及び、運動意欲を高める取組を実施していく必要がある。

＊「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書」
令和 6 年10月 大阪市教育局より抜粋



指導の様子（跳び箱）

教員の反応(R 6 回答)

- 実技指導員の指導はいかがでしたか？
大変満足：81% 満足：19%
- 今後の指導で活かせると感じた部分はありましたか？
十分にあった：90% 多少あった：10%
- 来年度も同事業があれば依頼したいですか？
来年もお願いしたい：81% 条件次第でお願いしたい：19%

音楽体感事業

令和 7 年度の取組内容

区内小学生・中学生を対象に、プロの音楽家を派遣し、記憶に残るプロの演奏に触れる機会を広く提供することで音楽・芸術に興味をもち、感性豊かな人材の育成につなげる。

※令和2年度から実施

※令和5年度から中学校へ拡充

【令和 7 年度】

●音楽家の派遣：10校12回実施予定



演奏の様子

教員の反応(R 6 回答)

●アンケート結果

・使用した楽器や曲目は、子どもたちの興味・関心を深めるきっかけになると思いますか？

大いに思う：56% 思う：37% あまり思わない：7%

・本事業実施により、子どもの感性が育まれるようなサポートができていると思いますか？

大いに思う：55% 思う：41% あまり思わない：4%

○鑑賞会后、こどもたちは「良かったー！」と口々に言っていました。ありがとうございました。

○あまり普段見たことのない楽器を見せていただいて演奏していただいていたありがとうございました。

○子どもの興味・関心にあわせた選曲や曲間の曲の解説など、子どもたちの集中が途切れない時間配分や内容でとても良かったです。

民間事業者を活用した課外学習支援事業

令和7年度の取組内容

区内在住・在学の小・中学生を対象に、放課後の学校施設を利用して、課外学習の場を設置。子どもの習熟に応じた少人数制個別指導を行っている。

【小学生拡充について】

令和7年4月より小学5・6年生を対象に拡充

【令和6年度実施校】

- 松虫中学校（H29年度～）
- 文の里中学校（H30年度～）
- 苗代小学校（R7年度～）

令和6年度阿倍野区民間事業者を活用した課外学習支援事業
阿倍野区役所主催 中学生課外学習塾

阿倍野学習クラブ

令和6年度受講生募集
4月授業開始

1人の講師につき
生徒4人以下の
少人数制
個別指導

実施要項

対象 阿倍野区在住または区内市立中学校の中学1～3年生

曜日 松虫中学校：毎週月曜日・木曜日（週2回）
文の里中学校：毎週火曜日・金曜日（週2回）

時間 18：30～21：00（個別指導タイム＋自主学習タイム）

場所 松虫中学校（定員30名）・文の里中学校（定員40名）

受講料 月額10,000円（税込・教材費込）〔支払い事・塾代補助金・奨学金等可〕

科目 英語・数学（個別指導の科目も可）

4月から無料体験授業開始！随時申込受付中！
会場にて随時実施しております。画面QRコードよりお申し込みください。

運営事務局 株式会社イング 電話072-264-5550 平日（月）～（土）13：00～21：00
※お問い合わせは、阿倍野区役所（〒650-0001 阿倍野区役所）または、阿倍野区立中学校（〒650-0001 阿倍野区立中学校）までご連絡ください。

スクールカウンセラー事業

令和7年度の取組内容

こども青少年局が、いじめ・不登校などの問題解決を図るため、小中学校に、スクールカウンセラー（公認心理師または臨床心理士）を配置し、学校園の生徒及びその保護者からの相談を受けている。引き続き、区としてスクールカウンセラーを1名配置。

【経過】

令和5年度 9名配置

- 小学校 2～3週間に1回（4名）
- 中学校 1週間に1回（5名）

令和6年度～ 12名配置（区として1名増員・局として2名増員）

	1週間に1回	2週間に1回
小学校 （6名）	常盤、阪南	高松、金塚、丸山、晴明丘、阿倍野 長池、苗代、晴明丘南
中学校 （6名）	1週間に1.5回 文の里、阪南	1週間に1回 昭和、松虫、阿倍野

不登校児などの相談支援事業

令和7年度の実施内容

- 学校になじめない等の悩みをもつ18歳未満の子どもとその保護者の相談に、専門的な資格を持った相談員が対応
- 関係機関と連携を強化しながら、効果的な支援を実施
- 来庁が難しい相談者向けに、ICTを活用しオンラインで相談できる体制を整備
- 区役所内に子どもの居場所を開設。

●相談業務の実施

月～金曜日（電話での事前連絡を勧奨）

●居場所の開設

木曜日（14時～16時）

実績

●相談業務

令和5年度：のべ178件

令和6年度：のべ213件

●居場所の開設

令和5年度：のべ20人

令和6年度：のべ9人



居場所 『ぴあ・ほーむa』

児童虐待防止相談支援事業

令和7年度の取組内容

◆ 潜在的虐待リスクの高い家庭等の早期発見・早期対応を行うとともに、虐待リスクの高い家庭への個別支援を強化するため、社会福祉士等の資格や一定年数の実務経験を有するより高度な知識と技術を持つ職員（虐待対応専門員）を配置して、虐待リスクの軽減・解消を図る。

◆ 個別支援を強化するための虐待対応専門員の活動

- 1 保育園、幼稚園等訪問 2～4か月に1回（全園訪問は実施。但し、必要に応じた訪問回数にする）
- 2 要支援・要保護家庭等への訪問、来所面談
- 3 学校、幼稚園、保育施設等との協議、情報共有、対応助言
- 4 他部署（保健活動、生活支援、障がい担当等）との連携、情報交換

実績

◆ 実績（令和6年度）

1 保育園、幼稚園等訪問 286回

新規ケース洗い出し 13件 【9世帯】 【前年度実績 20件 16世帯】

2 他部署との情報交換 随時

3 訪問支援等を行なった子どもの数 241人 A

家庭訪問72回 来所面接510回 学校園等への個別支援636回

区行政サービスや関係機関へつないだ子どもの数 203人 B

B/A 目標値 80% ⇒ 84.2%

【前年度目標値 80%⇒83.8%】

